



2024年9月17日

各位

会社名 株式会社はてな  
代表者名 代表取締役社長 栗栖 義臣  
(コード：3930、東証グロース)  
問合せ先 コーポレート本部長 田中 慎樹  
(TEL. 03-6434-1286)

#### 2024年7月期 通期決算説明会の質疑応答（要旨）について

この質疑応答集は、2024年9月13日（金）に開催した通期決算説明会（各メディア、アナリスト・機関投資家向け）にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問とその回答をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

#### ■費用について

---

Q:DC 利用料の対売上比率は中期的にどのようになるのか。

A:売上が成長していくにつれて対売上比率では下がっていくと考えている。主には米ドル円相場における円安傾向に一定の歯止めがかかると見込まれることが根拠である。直近の2024年7月期では、サービス成長による増加に加えて、急激な円安進行に伴うドル支払でのAWS費用が増えた影響で前期比での増加率は大きかったが、今後は鈍化していくと想定している。

---

#### ■テクノロジーソリューションサービスについて

---

Q:2025年7月期の業績予想のテクノロジーソリューション売上高の確度について知りたい。

A: 一般に、フロー型売上よりもストック型売上のほうが、ビジネスの性質として売上が積み上げていくものであり、手堅い読みをした場合の達成確度は高い。テクノロジーソリューションサービスではフロー型として主に受託開発売上があり、ストック型として主に SaaS 売上・保守運用売上・レベニューシェア売上があるが、25/7 期における比率としてはストック型売上の割合が非常に高くなってくると見込まれるため、確度は高いものと想定している。

---

以上